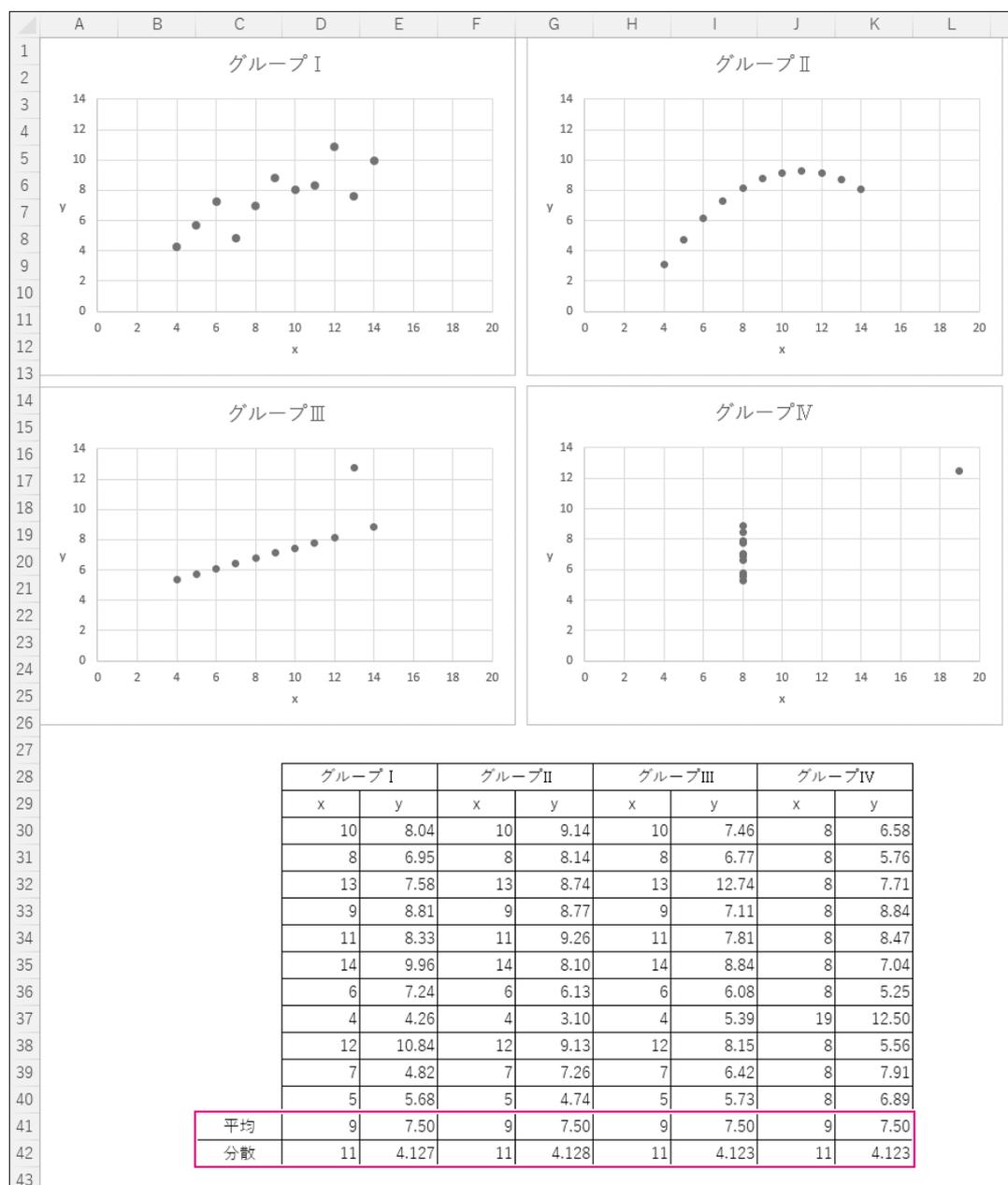


では、グラフを使ってデータを視覚化した例を見てみましょう。

次の4つのグラフ（散布図）は、統計学者フランク・アンスコムが紹介した「アンスコムの例（Anscombe's Quartet）」と呼ばれる数値例から作成したものです。



グループI～IVのデータについて基本統計量を算出すると、xの平均は9、分散は11、yの平均は7.50、分散は小数第2位までが4.12と、4つともが同じ値になります。どうみても4つのグラフは全く違う形ですが、基本統計量の平均と分散の数値を見ただけでは、4つが同じ傾向であると誤って判断してしまう可能性があります。

データ分析を行うときには、基本統計量の算出だけでなく、データの視覚化も欠かすことのできない重要なステップになります。

次のStepから、データを視覚化するために役立つExcelの機能を確認しましょう。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 付録
- 索引